

吾峰会 岩手

発行：吾峰会岩手県支部
住所：奥州市胆沢南都田本木
電話：090-7795-3911

「支部長就任 現状の課題」

吾峰会支部長 佐々木 一郎

令和七年度総会において、支部長職を仰せつかりました。元より微力ではございますが、会の目的達成に向け、会員が有意義な時を過ごせますように、努力したいと思ひます。

本会は、平成二十一年に結成し、小野寺寛支部長のもと「会員の親睦」と、「文教の振興に貢献」を主要目的として運営してきました。途中コロナ感染症により中止を余儀なくされた年もありましたが、支部長、事務局、役員の非常な努力により大きな感動や成果を収めてきました。深く感謝申し上げます。会費納入率は、七十%弱です。加齢は避けがたいわけですが、若手の加入がままならず、出席・参加会員の減少傾向があります。何らかの資料や会話、話題になりましたなら、事務局や役員にご一報下されば、大いに助かります。昨今の医学は、著しく発達しており、人生百年時代となります。後期高齢者という言葉にめげず、まだまだ先があります。ことを心して、臨みましょう。人間の死は避けられない宿命ですが、病の現状を話し、医師、医院、病院等の情報交換をして健康年齢を延長しましょう。

紫雲寮、如月寮、葵寮や学生時代を話し、教育を語り、現在に至るまでの経過、特技、趣味、他の団体等の紹介、終活のこと等々、勉強したいことは山ほどありますね。残りの人生を謳歌すべく、誘い合い参加していただければ、誠に幸甚

でございます。岩手県高等学校校退職者組合の冊子等のスロガンは、「天下御免の高退連」です。本会の機能集団としての言動を忘れず、全てを気楽に話し合いたいものです。どうぞ、宜しくお願いいたします。

あの日、あの頃

福島大学の思い出

「福大生時代が あってこそ今がある」

武田 啓佑

教育学部学校教員養成課程

平成二十年三月卒

私が福島大学教育学部に入学したのは、平成十六年四月のことです。三月に何もわからずアパートを決めに行き、生活の拠点としたのは大学のお膝元の「金谷川」でした。誘惑が少なく、学業に集中できる環境であったと自負しておりますが、空きコマの時間に、テレビで「水戸黄門」や「暴れん坊将軍」などの時代劇を見たことは良き思い出です。

社会科学系教育コースでは先生方や仲間にも恵まれ、充実した日々を過ごすことができました。特に、岩手県出身

の仲間がいたことは大変心強かったです。さらに、北は青森、南は鹿児島から来た社会科学の仲間とは、今でもつながり、情報交換をしております。当時、レンタカーを借りての東北一周旅行や卒業旅行で九州一周をしたことは、今でも昨日の日のように覚えて

います。社会科らしく、九州一周旅行では、知覧の特攻平和会館や福岡の防塁、佐賀の吉野ヶ里遺跡、長崎の出島を訪れたり、みんなでご当地のものを食べたりしたことは忘れられません。社会科の授業は、社会科教育学、歴史学、地理学、政治学、経済学、哲学、倫理学、社会学等多岐にわたり、見識を広めることができました。私は、初澤敏生先生のゼミに所属させていただきました。初澤先生は理論だけでなく、現場を特に大切にされ、リアルな学びがたくさんできました。授業（地理学実地研究）では、岩手を訪れることもあり、胆沢の扇状地等を訪れたことは良き思い出です。卒業論文は岩手の「道の駅」について調査しましたが、初澤先生のご助言のおかげで無事提出することができました。

大学院も含めて六年間お世

話になった福島は第二の故郷となっています。（妻の実家が福島市蓬萊にあるという点もありですが…）大学院では、現職の先生方との学びが、教員生活の糧となり、今でも当時の学びを生かしているところです。

当時私たちは「教育学部」最後の卒業生と呼ばれ、「人間発達文化学類」へとバトンタッチする節目の世代でもありました。今後また「教育学部」へと変わると聞きました。企業においても優秀な人材確保は重要な課題となっていますが、教員採用もわかりやすいです。進化を続ける福島大学を今後も応援し続けたいと思います。そして、吾峰会岩手支部会員もどんどん増やせるように声を張り上げます！



武田先生は後列中央

第九回岩手県支部定期総会開催6・1

令和七年六月一日（日）、水沢グランドホテルにおいて、第九回岩手県支部定期総会が開催されました。総会冒頭「今日の世紀に」を声高らかに斉唱し、同胞の思いを熱くしました。その後令和七年度からの二年間の活動方針、予算案、役員改選について協議が行われました。及川徹議長の下、話し合いがスムーズに進行しました。



令和七・八年度の方針

- ・組織拡大。令和六年度発行「吾峰会「会員名簿」の活用
- ・会報の発行、並びに、本部会報の送付（年二回）
- ・令和八年
- ・福大「母校を訪ねる旅」
- ・令和九年
- ・総会 研修会 懇親会開催
- ・吾峰会本部との連携
- ・慶弔への対応

新役員紹介

- | | |
|------|----------|
| 支部長 | 佐々木一郎 新 |
| 副支部長 | 横田 一平 新 |
| | 佐々木秀市 新 |
| 監事 | 今野 俊宏 新 |
| | 及川 徹 新 |
| 評議員 | 吉田美登梨 再 |
| 事務局長 | 高橋 佳文 新 |
| 幹事 | 千田紀一郎 再 |
| | 高橋 和子 再 |
| | 高橋 悦郎 再 |
| | 及川勇（新会員） |
| | 土井 祐之 新 |
| | 千葉 恭義 新 |

役員退任 感謝小野寺支部長

今回の役員改選に伴い、小野寺寛支部長、浅沼清昭副支部長、古川守人監事、市川杜夫評議員、渡邊祥子幹事は、退任となります。会の設立・発展にご尽力いただきました。心から感謝申し上げます。

研修会 講演

演題「後藤新平の生涯」

講師 後藤新平記念館 前館長 佐藤彰博氏

昭和五十四年卒

幼少期から晩年のボーイスカウト総長に至るまで、新平が残した数々の功績について、熱く語っていただきました。人との出会いの大切さを痛感しました。「次世代を担う人材を育てることが価値ある功績」のお話に感銘しました。ありがとうございました。



お知らせ

福大同窓吾峰会理事会在、五月十八日（日）福島大学を会場に開催されました。

冒頭の挨拶で、大規模な全学再編により、令和九年度より人間発達文化学類から、教育学部に変更されることが報告されました。背景に、教員を志望する学生が減少していることがあり、令和六年度卒の就職状況において、公立学校教員採用者は、八十一名、そのうち、福島県内採用者は、五十七名という実態が語られました。卒業生の過半数が、公務員や一般企業等に就職する傾向は続いています。この再編により、教員養成機能を充実させるねらいがあります。特に小学校教員養成に注力することにとなります。これに伴い、残念ながら、芸術・表現コース（音楽・美術を学ぶ）は、廃止となります。同様に教員志望の減少は本県の課題でもあります。この再編により、母校が更なる発展を遂げることを、切に願います。

※前事務局長の今野俊宏様には、九年の長きに渡って、事業の執行・会の発展に努めていただきました。心より感謝申し上げます。

